

# 社会心理学

Social Psychology



院生アルバイト  
「りぶおる」プレゼンツ

# りるNavi

特定のトピックや主題に関する資料・  
情報を収集する手順をまとめた調べ方案内  
(パスファインダー) です。

りるNavi  
Ritsyo University  
Library Learning Navigation

りぶおる  
学生アルバイト「りぶたま(Librarianの卵)」  
から発展した院生アルバイトの名称。  
知の象徴である鳥【Owl】から派生して  
名付けました。知識や知恵を集結させ  
て生かしていく姿が、大学院生たちの  
精鋭さを表しています。

## 社会心理学とは

社会的行動についての諸現象を研究する社会科学の一分野。社会的環境のなかで、個人や集団がどのような条件のもとでどのような行動を示すかについて科学的方法によって研究を行う。そこではおもに、(1) 社会的要因の個人への影響、たとえば、社会的知覚、社会的学習、社会化の過程など、(2) 集団内の個人と個人、個人と集団との相互関係、たとえば、相互交渉過程、指導性、集団の形成、分化、社会規範など、(3) 集団行動、たとえば流行、世論、宣伝に対して集団が全体として反応する行動など、が扱われている。(→集団心理学)

『ブリタニカ国際大百科事典』より引用

## 分類 (NDC9版)

図書館の書架を調べる際は、次の分類を中心に探すとよい。

分類番号	分野
140	心理学
141	普通心理学、心理各論
143	発達心理学

分類番号	分野
360	社会
361	社会学

## 辞典・事典

以下【 】内は立正大学図書館における請求記号と所在を示す。

- 『社会心理学小辞典』増補版【361.4/F 93 品川2F参考】 古畑和孝, 岡隆編, 有斐閣, 2002  
社会心理学の THE・辞書。社会心理学の全分野と関連領域を網羅している。用語に応じて 100~800 字で簡潔な解説がされていて、とても読みやすい。関連項目を → で紹介しており、知識を関連付けて理解することができる。社会心理学は統一されていない用語も多いが、300 以上の〈みよ項目〉があり知っている言葉できっと引ける。
- 『社会心理学用語辞典』改訂新版【361.4/O-24 品川2F参考】 吉森護 [ほか] 編集, 北大路書房, 1995  
『社会心理学小辞典』にない用語はきっとこちらでみつかることができるはず。ちょっと変わった用語辞典。概念の説明が易しい言葉でされていて、元論文の説明や歴史も載っている。社会心理学の部門別にコードを割り振り、用語ごとにコードを載せているため、引いた単語がどの分野の参考書に詳しく載っているのか、一目でわかる。
- 『社会心理学事典』改訂新版【361.4/N 77 品川2F参考】 日本社会心理学会編集, 丸善, 2009  
事典というよりもほぼ参考書。見開き 1 ページで 1 テーマを扱っている。学術的な用語だけではなく、「いじめ」、「失恋」、「ナルシズム」といった日常的な用語もたくさん収録している。自分の日常を社会心理学の観点からみるとどうなるのか?ぜひ本書を引いて、社会心理学のモノの見え方を体験してほしい。
- 『Encyclopedia of hoaxes』【361.4/St 3 品川2F参考】  
Gordon Stein ; foreword by Martin Gardner, Gale Research, 1993  
詐欺 (=Hoaxes) の百科事典 (=encyclopedia)。すべて英語で書かれている。歴史上の詐欺やフェイクニュースに関する幅広いトピックについて、背景や手法、詐欺の心理や仕組みなどを社会心理学の観点から解説している。

## 入門書

- 『史上最強図解よくわかる社会心理学』【361.4/O-26 品川 B1 図書】小口孝司監修, ナツメ社, 2013  
参考書というにはラフすぎるが、とにかく読みやすい。社会心理学に興味はあるが、本は難しそう…という人はまずこれを読んでほしい。“社会心理学”が“社会”、つまり私たちの日常に根差した学問であることがわかると思う。
- 『図説社会心理学入門』【361.4/Sa25 品川 2F 学修支援 / 品川 B1 図書】 齊藤勇編著, 誠信書房, 2011  
本学の社会心理学科の学生はこの本で育つ。社会心理学の学問としての深さと、参考書としてのシンプルさ、わかりやすさのバランスが初学者にはちょうどいい。まず社会心理学の重要概念をわかりやすく学びたいならこの本。
- 『キーワードコレクション 社会心理学』【361.4/N 76 品川 B1 図書】  
二宮克美, 子安増生編 ; 安藤清志 [ほか] 著, 新曜社, 2011  
辞書に近い参考書。社会心理学の基本概念について、1 テーマ 4 ページで関連概念や単語を詰め込んでいる。気になるテーマを読んで、知らない単語を辞書で引き、深く知るために参考書に進むための入り口となる本。
- 『社会心理学』補訂版【361.4/I-32 品川 B1 図書】 池田謙一 [ほか] 著, 有斐閣, 2019  
参考書の中では比較的ボリュームがあるが、入門編なので読みやすい。概論的な参考書であり、わかりやすくシンプルな流れのある文章なので、社会心理学を軽く一通り学びたい人はまず読んでみてほしい。

## 雑誌

- 『社会心理学研究』【360.5/49 品川 B3 雑誌 (新刊は 3F 開架雑誌コーナー)】 日本社会心理学会  
日本社会心理学会が年 3 回刊行している学会誌。J-STAGE の電子ジャーナルで読むこともできる。社会心理学に関する最前線の研究論文が掲載されているため、社会心理の研究に興味があるならまずこれを読むべき。
- 『立正大学心理学研究年報』【R-1/125 品川 B3 紀要 (新刊は 3F 開架雑誌コーナー)】  
立正大学心理学部, 立正大学大学院心理学研究科 [編], 立正大学心理学部  
年 1 回刊行されている本学の紀要。大学院生や教授の研究などを読むことができる。本学の先生がどのような研究をしているのか、知っている先生の研究論文を読んでみるのも面白いかもしれない。

## インターネット 学会サイト等

- 『日本社会心理学会』 <https://www.socialpsychology.jp/>  
社会心理学の専門家と隣接する諸科学の研究者で社会心理学に関心を持つ者で組織された団体。『社会心理学研究』の編集刊行を行っている。年に一度開催される大会や公開シンポジウム、セミナーなどの情報の他、論文データベースや実験・ドキュメンタリーの映像、研究ツールボックスなど、非常に有益な情報が掲載されている。
- 『日本応用心理学会』 <https://j-aap.jp/>  
社会心理学に限らず、心理学に関する広い領域をカバーしている学会。本学の対人・社会心理学科の先生方も多く所属されている。学術誌『応用心理学研究』を年 3 回刊行しており、ユニークな研究が多く掲載されているので、目次だけでも見てほしい。年に一度開催される大会や公開シンポジウム、研究奨励賞の情報も掲載されている。